

【授業改善推進プラン、2年国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○書くこと・読むこと・話すことに意欲的に取り組んでいる。 ○なぞったり、視写したりすることに対して意欲が高い。 ○読み取りに課題がある。聞かれていることがわからないことが多い。 ○拗音、促音の書き取りが苦手な児童が多い。 ○文章で自分の考えを表現したり、一から作り上げたりすることが苦手。 ○ひらがな、カタカナ、漢字の正しい形や書き順が定着していない児童がいる。 ○適切な助詞「は・を・へ」を使って文章を書くことができない児童がいる。 ○文章のまとめや構造を意識せずに書いてしまう。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童によって、習熟度にばらつきがある。 ○読み取る力、語彙を増やす力の育成を目指した読む力の指導の工夫。 ○既習の文字や言葉を正しく使えるようになるための書く力の指導の工夫。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○モジュールや宿題で繰り返し取り組ませ、言葉と文字を定着させる。 ○自分の考えを整理して、文章に表す練習を積み重ねる。 ○文章や詩を、音読させる時間を確保する。 ○国語の授業を中心に、言語活動の充実を図る。 ○他教科で学んだことを国語と合科関連させて文章で表す。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の意味を調べ、確認する時間を確保する。 ○聞かれていることを確認する場を設ける。 ○MIMを活用し、苦手なことの早期発見につなげる。 ○読書活動の推進を継続する。

【授業改善推進プラン、2年算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に学習に取り組む。 ○10までのたし算、ひき算を正確に解くことができる。 ○繰り上がりのある計算が定着しつつある。 ○繰り下がりのある計算は苦手を感じている児童がいる。 ○プリントやテスト等、問題を読まずに（または読めずに？）、間違えてしまう児童がいる。 例：□に合う言葉を書きましょう。→式を書いてしまう。 数の多い方に○をつけましょう。→数字を書いてしまう。 ○数の概念や計算において、1年生の学習が定着していない児童がいる。 ○身近でない単位と量感を一致させることが難しい。 ○計算する際に、指を使って数える児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○問題の意味を理解できるようにするための指導の工夫。 ○習熟度の見取り方。 ○年間を通した、既習事項の復習をする時間の確保。 ○コロナ禍での習熟度別指導、少人数指導。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○確かめ算など、見直しをする習慣をつけさせる。 ○自力解決する際に、既習事項を活用して考えることを習慣づける。 ○身近な物を題材に挙げ、児童が経験と結びつけて考えられるようにする。 ○半具体物を用いて、実感を伴う活動を取り入れる。 ○授業や宿題で、繰り返し復習する機会を設ける。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○問題文を読み、何を問われているのか確認してから、問題に取り組ませる。 ○文章題の大事なところに印をつけて、それを基に式を立てることを身につけさせる。 ○問題をよく読んだり、問題を図に表したり、ノートに自分で書いたりすることを指導し、正確な問題把握をできるようにする。 ○問題作りに取り組み、友達と自分の考えを伝え合う時間の確保。

【授業改善推進プラン、2年音楽】

児童の状況	※コロナ感染予防のため、授業内では、歌唱と鍵盤ハーモニカの演奏は行っていません。 ○リズム打ちなど、体を動かしながら取り組む活動に楽しんで取り組むことができる。 ○鍵盤への苦手意識をもっている児童がいる。 ○
指導についての課題	○鍵盤ハーモニカなどの楽器が苦手な児童への指導の工夫。 ○コロナ対策のための音楽的活動の制限。
授業改善にむけての具体的方策	○リズム打ちを通して、音符や休符の長さを捉えさせる。 ○適切な個別指導。 ○書画カメラを用いて、鍵盤ハーモニカの指を置く位置や指づかいを視覚的に示す。
読み解く力の育成	○音階名とどの鍵盤が対応しているのか、確認をする。 ○歌詞の意味を考える。 ○曲想を捉えるときのイメージを書く。 ○楽譜に音階を書き込む。 ○演奏のための技法を理解するために、教科書やワークの説明文をよく読み、意味を確かめる。

【授業改善推進プラン、2年図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの児童が作業に集中して取り組むことができる。 ○友達の作品の良いところを、鑑賞するのを楽しみにしていたり、自分の作品に積極的に取り入れようとしたりすることができる児童が多い。 ○絵の具を使った活動に意欲的。 ○多くの児童が絵の具の使い方を理解し、作品作りに励んでいる。 ○材料をいくつ使ってよいかなど、はじめの説明をしっかり聞けない児童がいる。 ○見本を見ながら作品づくりをしていますが、向きなどを間違えてしまう児童がいる。 ○発想力や工夫に課題がある。 ○塗る、貼る、切るなどの活動で支援が必要な児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○作品を飾れる場所が少ない。 ○鑑賞の指導と評価の工夫。 ○教材提示や説明の工夫。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞できる場と時間の確保。 ○書画カメラを用いて、作品を作る工程を視覚的に提示し、目の前で実演する。 ○道具の正しい使い方やコツの指導を継続的に行う。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の作品の説明をする。 ○友達の作品の説明を読み、内容を理解する。 ○教科書のテーマや板書のめあてや手順などをよく読み、理解して、作品作りをする。

【授業改善推進プラン、2年生活】

児童の状況	○気付いたことを相手に伝えることが好き。 ○愛着を持って、植物や動物を観察したり育てたりすることができる。 ○相手意識をもって、活動することができる。
指導についての課題	○植物栽培の場、飼育の場、季節を感じられる場などの場や、校外学習へいくなどの時間の確保 ○学習材が身近にない。 ○児童の主体的な学習につながる授業の工夫
授業改善にむけての具体的方策	○場や時間などの確保 ○児童の興味○関心を高めるための発問や学習材、単元構成の工夫 ○環境設定の工夫 ○コロナ禍で施設内での調べ学習が難しいため、教員が動画や写真を活用した授業を行う。
読み解く力の育成	○マインドマップやウェビングを活用する場の設定 ○地図や新聞、ポスター、パンフレットなどを読み取り、疑問や課題を解決する。 ○友達がまとめた観察カードワークシートの文章を読み、意味や思い、願いを理解する。

【授業改善推進プラン、2年体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○活動に意欲的に取り組むことができる児童が多い。 ○できないことに挑戦する意欲がある児童が多い。 ○走ることが好き。 ○整列や集団行動など、繰り返し取り組んでも定着しない児童がいる。 ○コロナ禍でできない活動がある。(キャッチボール・パス・バトン有りのリレーなど) ○校庭がないため、活動が制限されている。 ○コロナ禍であることや校庭がないことが影響して、基礎的な体力や技能が十分ついていないと言えない。 ○個別練習が必要な児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の時間と場所を確保すること。 ○コロナ対策を行いながらの指導の工夫。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基本の運動やゲーム運動を通して、ルールを守りながら勝敗を認めみんなと仲良く楽しく活動できるように指導する。 ○時間の確保。 ○教職員やボランティアの協力で、準備の短時間化をはかる。 ○安全管理。 ○ソーシャルディスタンスを保ちながら、協働学習や学び合いを行う。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りの充実。 ○示されたルールを読んで、活動に取り組む。

【授業改善推進プラン、2年 特別の教科 道徳】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○発言によって自分や登場人物の気持ちを伝えることができる。 ○考えや気持ちなどを具体的に書く能力に差がある。 ○道徳教材の内容を理解しているが、実際に行動に移せない場面が見られる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○考えさせることの工夫。(場面絵やデジタルコンテンツの活用法、主の発問をどうするかの工夫) ○自分事として捉えるために、自分の経験を振り返らせる指導の工夫。 ○考え、議論をさせる工夫。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○考えたいと思えるような主体的な学びになるための導入を行う。 ○登場人物の気持ちに寄り添うための発問をする。 ○考えたことを共有する方法の工夫。 ○課題を考えることを、自分と重ねて考えることができるようにするための工夫。 ○ロールプレイングを通して、相手の立場に立って考えさせる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○場面から道徳的価値を捉える。 ○教材文を読んで、登場人物の気持ちの変化を捉える。